

設備紹介 - 分光感度測定装置

平成24年度補正予算事業「地域新産業創出基盤強化事業」(近畿地域)により「分光感度測定装置」を新規に設置しました。本装置は、分光した光を太陽電池に照射した際の光電変換効率を評価する装置で、太陽電池が太陽光の紫外線から赤外線などの領域に感度を有するかを評価することができます。特に本装置は最新の色素増感太陽電池の評価に必要な定フォトン、定エネルギー測定が可能です。



概要

1. 品名	分光感度測定装置
2. システム構成	分光計器(株)製 CEP-2000NK
3. 特長	<ul style="list-style-type: none">・測定項目 分光感度、量子効率、I-V 特性・波長範囲 300nm～1200nm・照射光強度 5mW/cm²(400～700nm)1 × 10¹⁶Photon/cm²・sec(400～1100nm)・照射面積 10 × 10mm²・照射光モード 定フォトン、定エネルギー・測定モード DCモード
4. 応用例	<ul style="list-style-type: none">・色素増感太陽電池の分光感度評価

掲載日付: 2013年12月27日